

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立保土ヶ谷公園
指定管理者 : 財団法人神奈川県公園協会
施設所管課(事務所名) : 横浜川崎治水事務所

(平成22年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	5月31日	
5月	6月10日	6月30日	
6月	7月12日	7月30日	
7月	8月10日	8月23日	
8月	9月10日	9月30日	
9月	10月12日	10月29日	

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

保土ヶ谷公園の整備方針や特徴、これまでの取り組みを踏まえ、総合的な管理運営方針を「スポーツと健康、みどりと人とのふれあいづくり」として、また、管理運営の3つのテーマを掲げて、一層の県民サービスの向上と経費の節減に努めた管理運営に取り組みます。

○スポーツとのふれあい、健康づくりの発信

・誰もが気軽にスポーツとふれあい、健康づくりに取り組める環境をつくります。

○みどりを守り、育て、活かした公園の魅力づくり

・みどりの特性を活かして、公園の魅力を創り出します。

○県民に親しまれ、交流の場となる公園づくり

・公園利用とコミュニケーションの促進に努めます。

<実施状況>

5月に開催されたふれあい天然芝生・人工芝体験(サッカー場・ラグビー場)を始め、7月のラグビーフェスティバル、7月のアマチュア芝生管理教室(1回目)、9月のアマチュア芝生管理教室(2回目)等、毎年開催されてきた催し物も例年どおり開催され、今年も大勢の来園者に喜ばれた。また、フリーマーケット、七夕飾り、竹細工教室、夏休み工作教室、犬のしつけ教室、クラフト体験コーナー、ほどがやわくわくプレイパーク、保土ヶ谷キャンドルナイト2010「夏を送る」等「スポーツと健康、みどりと人とのふれあいづくり」の面から、県民サービスの向上とともに、利用促進が図れた。

公園資料館のギャラリーは「Gallery Coen」と愛称をつけ、県民に広く、親しく利用できる施設として、来園者がいつ来ても催事が行われているよう心懸けている。

4月の絵画展、5月の「楽描♪アートセッション」、6月の「ダンボールアート」、7月の「高校野球写真展」(神奈川新聞社とのタイアップ)、8月の「キャンドルナイトプレ展示」、9月の「写真家による公園利用者たちと自然のふれあい写真展」等を開催し、新たな公園の魅力づくりを手がけている。

利用者満足度調査(5段階評価)の結果からも「公園の満足度」が4以上であり、維持管理の面から見て、それなりの管理水準であったと判断される。しかし、「トイレの状態」については、4未満であり「普通、やや悪い」との意見が半数にもものぼることから今後の改善が望まれる。なお、改善するにあたり老朽化したトイレについては、指定管理者だけで対応できる課題ではないので、今後県が順次改修を進める必要がある。

3 収支状況 (単位：千円) 注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	250,834	153,334	41,000	56,500	250,834	0
上半期計 (a)	144,240	87,718	24,675 (27,529)	31,847 (34,425)	130,427	13,813
下半期計 (b)						
4月	13,005	5,646	2,639 (3,927)	4,720 (6,541)	12,495	510
5月	33,876	23,801	4,287 (4,678)	5,788 (6,132)	13,059	20,817
6月	31,675	24,051	3,678 (3,921)	3,946 (3,875)	44,350	△ 12,675
7月	19,830	7,599	5,277 (5,277)	6,954 (7,033)	13,909	5,921
8月	15,211	4,673	5,360 (5,151)	5,178 (5,049)	17,750	△ 2,539
9月	30,642	21,948	3,434 (4,575)	5,260 (5,795)	28,864	1,778
合計 (a+b)	144,240	87,718	24,675 (27,529)	31,847 (34,425)	130,427	13,813

1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
 ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

施設管理の入札差益等のため、収支差額が生じている。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況: 定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況: 車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況: 積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	339,291人	406,280人	△16.5%
下半期計 (b)	0人	0人	
4月	43,770人	57,587人	△24.0%
5月	59,404人	70,170人	△15.3%
6月	43,428人	40,147人	8.2%
7月	82,376人	112,274人	△26.6%
8月	55,875人	61,922人	△9.8%
9月	54,438人	64,180人	△15.2%
合計(a+b)	339,291人	406,280人	△16.5%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

利用者数の減少の主な要因としては、3月に芝生の張替作業が行われ、4月末まで芝生の養生期間としたため、春の高校野球大会等が開催されなかったことや今年の7月～9月が記録的な猛暑となったことや、4月・5月・9月の天候不順による影響もあり、運動施設の利用者及び来園者が減少した。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	1	3				4
5月	1	3				4
6月	7	1				8
7月	2	6				8
8月	1	3				4
9月		1		1		2

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月		1	1

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・テニスコート設備（目よけ、コート、壁打ちコート）についての要望	・県と協議しながら対応を図る。
	・軟式野球場から砂埃が家に飛んでくる。	・利用者の要望に応えながら、散水作業をこまめに実施する。
職員対応		
事業内容		
その他	・猫に餌やりをしている人がいるので注意してほしい。	・猫に餌を与えないよう説明（餌の散乱、不衛生、カラス等も来る。）
	・ノーリードで犬を散歩させている飼い主がいる。	・職員・警備員による声掛け、ポスターの掲示、園内放送をして注意を促しているが、未だにルールを守られない利用者もいる。 ・犬のしつけ教室の開催
	・予約システムの変更に伴うシステムの不具合や操作方法について	・県情報システム課に連絡及び調整をしながら対応を図る。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		実施せず	
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理2年目となり、ギャラリーでの新規企画や「フリーマーケット」「プレイパーク」「キャンドルナイト」など新たなイベントを開催するなど積極的に利用促進を行い、保土ヶ谷公園の魅力アップに努めた。下半期には地域と連携した新たなイベントもあり、落ち込んだ利用者数を挽回できるよう努力したい。 収支状況については、3月の硬式野球場の芝生張替による養生期間とその後の生育状況により駐車場収入と維持管理費が大きく減少した。その他の支出残は主に施設管理の入札差益等なので、今後、フラワーロード計画の推進や、老朽化した施設の改修や枯損木処理など有効に使い、安全で魅力ある公園になるよう努力したい。
施設所管課	<p>公園資料館のギャラリーを県民に広く、親しく利用できる施設として、来園者がいつ来ても催事が行われているよう心懸け、新たな公園の魅力づくりを行っている。また、利用促進にも新たなイベントを導入するなど積極的に取り組んでいる。利用者満足度調査（5段階評価）の結果から判断すると「公園の満足度」は4以上の評価であったが、「トイレの状態」については3.5と評価が低い。これは老朽化した施設もあることから、このような評価になったとも判断できるが、「汚い」「臭い」トイレをなくすよう最善の努力を心懸ける必要がある。その他の項目についてもぎりぎりの評価で4となっていることから、今後ともなお一層、サービスの向上と利用促進を積極的に図る必要がある。</p>